

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	火災予防運動啓発事業			会計	款	項目	大	小
				01	09	01	02	05
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	予防課			
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	染谷 広美			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	1 全市民 2 防火対象物	意図	1 火災発生時の対応についての知識及び技術を習得させる。 2 火災を発生させない。
事業内容	春・秋の火災予防週間及び歳末特別警戒の期間では、消防職団員を投入して、火災予防に必要な巡回広報、ポスターの配布、立入検査、消防訓練、防火PRなどを重点的に行い、同期間中の火災の撲滅を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	戦後初の火災予防運動は昭和21年10月21日から27日までの1週間で、火の元点検と家屋周囲の清掃が重点的に実施された。その後、ラジオ放送及びポスターや立て看板による周知が実施された。現在は、消防車両による火災予防運動パレードは実施していないが、消防車両による広報及び広報ながれやまへの掲載を主体に啓発を図っている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	① 春の火災予防期間中の火災件数	0	0	1		↓↓↓	
	② 秋の火災予防期間中の火災件数	0	0	0		→→	
	③ 歳末特別警戒の火災件数	1	1	0		→→	
	④						
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 1 火災予防広報により春の火災予防運動期間中においては1件の火災が発生したが、秋の火災予防運動期間中と歳末特別警戒での火災は昨年度同様0件を維持している。 2 巡回広報をして、住民に安全のシグナルとして受け止めてもらい、安心安全な生活の向上に務める。 3 毎年、秋は11月9日から同月15日まで、歳末は12月25日から同月31日まで、春は3月1日から同月7日を対象とする。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		16,202,900	15,940,500	16,629,132			
事業費(b)(円)		1,846,900	1,966,500	2,810,600			
うち一般財源		1,846,900	1,966,500	2,810,600			
職員給与費(c)(円)		14,356,000	13,974,000	13,818,532			
人役・職員(人)		2.00	2.00	2.00			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	全国統一防火標語をスローガンに、各事業所に防火ポスターを掲示するとともに火災予防の店内放送を行っていただき、防火意識の啓発に努める。	③取り組みの課題	火災予防広報用の防火ポスターを小中学生に書いてもらい、少年期からの防火意識の啓発を高めた。
②今年度(H26)に実施した取り組み	流山市防火安全協会(消防本部の外郭団体)と共催する防火ポスター展に小中学生の参加を促し、少年期からの防火意識を高めた。	④今後の改善計画	今後も継続し流山市防火安全協会(消防本部の外郭団体)と共催する防火ポスター展を実施し少年期からの防火意識を高める。